オーディオ資料室収載

2023年の活動を振り返って

毎年の年末には、研究室日誌のページで、その年の音楽とオーディオの活動を回顧してきましたが、昨年からオーディオ資料室の研究室メモに掲載することにしています。

2013年にスタートした本HPも10周年を迎えることになりました。

本年も昨年に引き続き、音楽活動やオーディオ活動が新型コロナ感染の少なからず影響を受けました。

コンサートは、近隣のホールなど最小限に留め、配信頼りになりました。本年は、ベルリンフィルディジタルコンサートホールの他、東京春の音楽祭、ディジタルサントリーホールなどが中心であることは変りません。ネットに接続したPANASONIC のレコーダーのベルリンフィルディジタルコンサートホールとYouTubeやfidataとSonica DACによるSpotify Connectも昨年同様ですが、昨年からのドイツグラモフォンの配信チャンネル「STAGE+」が主要な音源の位置を占めるようになりました。音質もよく、各地の音楽祭のライブ収録や過去の歴史的な演奏の収録のアルバムなど、豊富で良質のコンテンツに満足しています。さらにコンセルトヘボウの配信サイトCONCERTGEBOUWORKESTやNHKプラスの配信も加わりました。

オーディオのイベントでは、6月のOTOTENの配信も視聴しました。11月のオーディオセッションin Osakaの開催では、短時間の参加でしたが、昨今の動向を知ることができました。

オーディオ関係では、引き続きZANDENのフォノイコライザーModel120の活用が進み、昨年に友人から譲り受けた大量のモーツアルトのアナログ盤125タイトルの試聴が完了しました。

アナログ再生関係では、オーディオ仲間にLeak Pont1の修理をしていただき、Garad401のフォノステージとして活用しています。

アクセサリー関係では、一昨年のインフラノイズのヴォリュームアキュライザーや昨年のターンテーブルアキュライザーに引き続き、本年はスピーカーアキュライザーをメインシステムとサブシステムの2系統に導入し、目覚ましい成果をあげました。

さらに、昨年の光城精工の仮想アース Crystal E と Crystal Ep に引き続きCrystal E Jtuneを導入しました。年末にはCrystal EpLも入荷する予定です。

また、配信音源が主要な音源となったことから、LAN iSilencer と LAN アキュライザーを導入し、特に後者は、目覚ましい成果をあげていますので、配信サイトの開拓に意欲を燃やしています。LAN アキュライザーは、追加導入も図りました。

来年度の目標は、これまで同様、音楽活動やオーディオ活動を感染対策に留意しながら継続していくことです。

変異が繰り返される新型コロナやインフルエンザなどの感染防止に関して重々注意され、新しい年を迎えられることを祈念しております。

以上